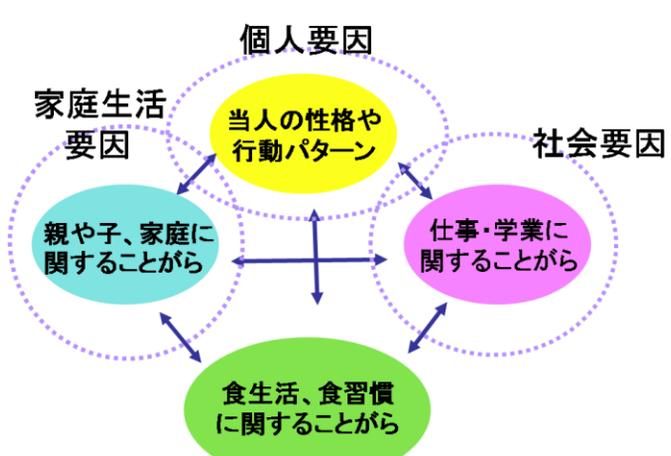
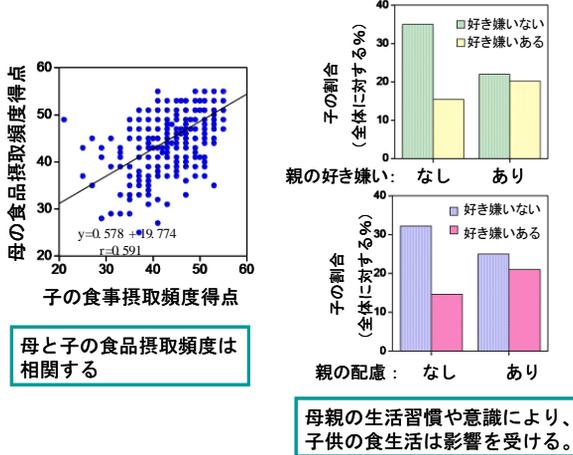


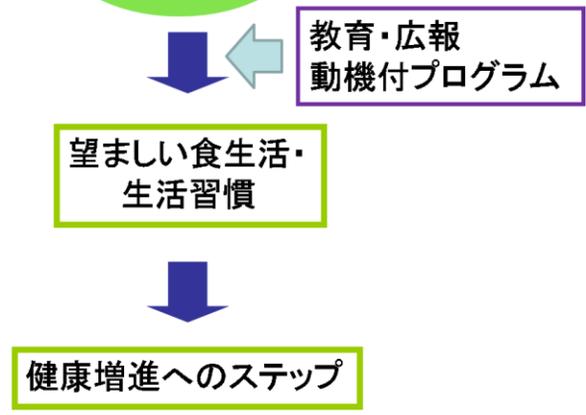
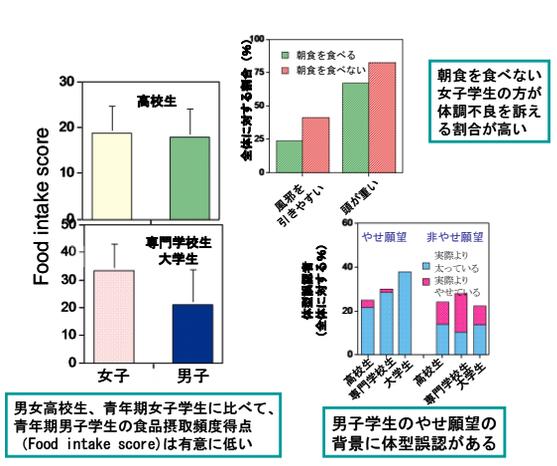
ライフステージ別『望ましい食生活』、『望ましい生活習慣』達成のためのオーダーメイド型健康教育プログラムの構築—子育て期女性と子ども、思春期、青年期男女学生を対象として—  
保健医療学部 一般教育科 山田恵子 看護学科 片倉洋子、丸山知子

近年、『健康』に対する国民の関心が高まっており、「望ましい食生活(習慣)」や「望ましい生活習慣」に関する多くの指針が示されている一方で、それらの実行が困難であることが多くの調査により明らかとなっている。我々は健康の問題と食や生活習慣との関連について考えていくとき、個人を取り巻く家族や家庭要因、仕事や学校などの社会的要因などを考慮し、多方面からその相互のかかわりについて解析していくことが必要と考えている。様々なライフステージにある人々を対象に、食事や食習慣、性格や行動、親や家庭、学業や仕事との関係などを調査し、それらの調査結果を基に食教育を含めたオーダーメイド型健康教育の構築を目指している。

### 母と子（保育園児）の調査 1



### 高校生・専門学校生、大学生の調査



### 母と子（保育園児）の調査 2

